

脱風評の起爆剤に

威勢のいい呼び込みの声が響く。今月中旬、宇都宮市内の百貨店で開催された「とちぎ・ふくしま物産展」。出店したのは、栃木、福島の商品製造・販売業者らだ。客でにぎわうフロア。しかし、出店者の1人がふと表情を曇らせた。

売り込み

県内を訪れた観光客は前年比で1千万人以上減った。県内の観光地は今も原発事故による風評に苦しんでいる。閉塞感さえ漂い始めた今、打開のための起爆剤として期待を集めるのが、高さ634m、自立式電波塔としては世界一の高さを誇る東京スカイツリーだ。22日にはいよいよ開業する。

「(震災前の)一昨年の開催に比べ、客足は半分。『栃木・福島』はまだまだ客から敬遠されている」

「(震災前の)一昨年の開催に比べ、客足は半分。『栃木・福島』はまだまだ客から敬遠されている」

政治生命懸ける

カラフルなテントの下に県内産の農産物や

名産品がずらりと並んだ。東京都墨田区の区役所前広場で先月21日開かれた「とちまるフェスティバル」。スカイツリー開業を1カ月後に控え、県などが主催した。

“挙県態勢”知事リード

報も発信する。

「市町と共同で設置する『栃木方式』が強い。産業や観光地の活性化の起爆剤に」と知事。

「政治生命を懸けるぐらいのつもりで、トップセールスを含め最大限努力する」と、かつて強い決意をにじませた。

民間も思い強く

年間約2500万人、初年度に限っては3200万人の来場者が見込まれる巨大施設。世界中が注目し、その経済効果は計り知れない。

「とちまるショップ」を出店する。県内26市町の特産品1000点以上を販売し、観光情

報も発信する。市町と共同で設置する『栃木方式』が強い。産業や観光地の活性化の起爆剤に」と知事。「政治生命を懸けるぐらいのつもりで、トップセールスを含め最大限努力する」と、かつて強い決意をにじませた。

町)の松本謙社長は辻善兵衛商店(真岡市田町)は酒卸問屋を通じ、吟醸酒と純米酒を販売する。出品に合ったステージを最大限に活用したい」と積極的色を、黒からスカイツリーをイメージした青色に一新した。

低い。スカイツリーは日本で一番の観光スポットになる。栃木の地酒を、より多くの人に知ってもらえれば。辻寛之専務は販路拡大に期待を寄せた。



スカイツリー開業を1カ月後に控え、都内で開催したPRイベント。福田知事自らのトップセールスで「栃木」を売り込んだ。4月21日、東京都内

洋菓子製造販売の庫や(那須塩原市下田野)はソラマチ2階などに3店舗を同時オープンさせる。都内では初の出店だ。「(風評に苦しむ)こういう時期だからこそ、頑張つて、多くの方々に元気づけたい」。手塚清社長はスカイツリーに懸ける熱い思いを語った。

開業を間近に控えた東京スカイツリー。世界一のタワーに寄せる期待が県内で高まっている。県のアンテナ店が果たす役割や観光誘客への効果、課題を探る。

634m からとちぎへ

スカイツリー開業への期待

上